

## 成人看護方法論 I

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 三浦 幸枝 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、高度看護研修センター		
対象学年	2	区分・時間数	講義 22.5 時間
期 間	前期		
単 位 数	2 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

本科目は、慢性期・終末期にある対象に対する成人看護に必要な基礎的看護技術について学ぶ。慢性疾患を抱える対象者の病態、検査・治療の目的および心理を理解し、対象者が自己管理能力を高めるための看護を学ぶ。また、終末期にある対象者とその家族の特徴を理解し、看護援助の方法を学ぶ。

### ・教育成果（アウトカム）

慢性期の疾患をもちながら生活する成人期の対象がもつ諸問題の特徴を理解し、関連する機能障害、検査、治療、生活への影響について説明できる。また、慢性期・終末期にある患者・家族に必要な看護に関して、アセスメントに必要な情報を収集し看護問題の抽出、具体的なケアプランの立案とその評価方法を理解し身体・心理・社会・人生の行路の視点から考え支援に必要な理論を活用した援助の具体的な方法を説明できる。

#### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1,2,3,4,5

### ・到達目標（SBO）

1. 慢性期・終末期の基本概念を説明できる。
2. 慢性疾患をもつ人および終末期にある人とその家族の特徴について説明できる。
3. 慢性期・終末期の各期に応じて変化する治療や日常生活への影響に対する看護を理解できる。
4. 慢性期・終末期にある患者とその家族に起こりやすい健康問題と看護の特徴を理解できる。
5. 慢性期・終末期の状態に応じた看護過程の展開について事例を通して理解できる。
6. 慢性期・終末期看護の看護支援を考察することができる。

・ 授業日程

(矢) 西 1-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/11	月	2	共通基盤看護学講座	伊藤 奈央 講師	<p>慢性の脳・神経系機能障害をもつ患者の看護 脳梗塞、パーキンソン病</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脳・神経系機能障害のアセスメントとそれに伴う看護が説明できる。</li> <li>・脳・神経機能障害が生活に及ぼす影響について説明できる。</li> </ul> <p>事前学修：該当疾患の病態生理、症状、検査、治療の要点をまとめる</p>
4/15	金	2	共通基盤看護学講座	伊藤 奈央 講師	<p>慢性の脳・神経系の慢性疾患をもつ患者の看護 ALS</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脳・神経系機能障害のアセスメントとそれに伴う看護が説明できる。</li> <li>・脳・神経機能障害が生活に及ぼす影響について説明できる。</li> </ul> <p>事前学修：該当疾患の病態生理、症状、検査、治療の要点をまとめる</p>
4/18	月	3	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>慢性の代謝機能障害をもつ患者の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病の患者への看護活動が説明できる。</li> <li>・セルフマネジメントを支える援助を説明できる。</li> </ul> <p>事前学修：該当疾患の病態生理、症状、検査、治療の要点をまとめる</p>

4/22	金	2	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>慢性の代謝機能障害をもつ患者の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脂質異常症の治療とそれに伴う看護を説明できる。</li> <li>・健康学習支援が必要な人への看護が説明できる。</li> </ul> <p>事前学修：該当疾患の病態生理、症状、検査、治療の要点をまとめる</p>
4/26	火	1	共通基盤看護学講座	佐藤 奈美枝 特任准教授	<p>慢性の呼吸機能障害をもつ患者の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸機能のアセスメントとそれに伴う看護を説明できる。</li> <li>・慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息と共にある生活とアセスメントと看護介入が説明できる。</li> </ul> <p>事前学修：疾患の病態生理、症状、検査、治療の要点をまとめる</p>
4/27	水	2	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>慢性の栄養摂取・消化機能障害をもつ患者の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・炎症性腸疾患と共にある生活の理解とアセスメントを説明できる。</li> <li>・炎症性腸疾患と共生きる人への看護介入を説明できる。</li> </ul> <p>事前学修：該当疾患の病態生理、症状、検査、治療の要点をまとめる</p>
5/12	木	3	共通基盤看護学講座	佐藤 奈美枝 特任准教授	<p>慢性の循環機能障害をもつ患者の看護 虚血性心疾患、高血圧、慢性心不全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・循環機能障害のアセスメントとそれに伴う看護が説明できる。</li> <li>・循環機能障害の治療とそれに伴う看護、生活に及ぼす影響が説明できる。</li> </ul> <p>事前学修：疾患の病態生理、症状、検査、治療の要点をまとめる</p>

5/13	金	1	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>慢性期の栄養摂取・消化機能障害をもつ患者の看護 慢性肝炎、肝硬変、肝がん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肝硬変、肝がん患者のアセスメントとそれに伴う看護を説明できる。</li> <li>・セルフマネジメント支援の説明ができる。</li> </ul> <p>事前学修：疾患の病態生理、症状、検査、治療の要点をまとめる</p>
5/17	火	2	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>慢性の感覚機能をもつ患者の看護 糖尿病網膜症</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚障害をもつ患者のアセスメントとそれに伴う看護を説明できる。</li> <li>・感覚機能障害が生活に及ぼす影響を説明できる。</li> </ul> <p>事前学修：該当疾患の病態生理、症状、検査、治療の要点をまとめる</p>
5/17	火	3	高度看護研修センター	横田 真理子 がん看護専門看護師	<p>自己免疫系の障害をもつ患者の看護 膠原病・関節リウマチ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義、DVD 視聴後のディスカッションにより疾患の特徴と看護上の課題を説明できる。</li> </ul> <p>事前学修：該当疾患の病態生理、症状、検査、治療の要点をまとめる</p>
5/19	木	3	高度看護研修センター	横田 真理子 がん看護専門看護師	<p>慢性の造血機能障害 慢性の生体防御機能をもつ患者の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義、DVD 視聴後のディスカッションにより疾患の特徴を理解し、看護上の課題を説明できる。</li> </ul> <p>事前学修：該当疾患の病態生理、症状、検査、治療の要点をまとめる</p>

5/24	火	2	共通基盤看護学講座	佐藤 奈美枝 特任准教授	<p>慢性の内部環境調節障害をもつ患者の看護 腎疾患、慢性腎不全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性腎臓病とともにある生活の理解とアセスメントが説明できる。</li> <li>・内部環境調節障害が生活に及ぼす影響を説明できる。</li> </ul> <p>事前学修：該当疾患の病態生理、症状、検査、治療の要点をまとめる</p>
5/26	木	3	共通基盤看護学講座	佐藤 奈美枝 特任准教授	<p>慢性の排泄機能障害をもつ患者の看護 慢性の性機能障害をもつ患者の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄機能障害のアセスメントとそれに伴う看護を説明できる。</li> <li>・排泄機能障害が生活に影響を説明できる。</li> </ul> <p>事前学修：該当疾患の病態生理、症状、検査、治療の要点をまとめる</p>
5/27	金	1	共通基盤看護学講座	伊藤 奈央 講師	<p>放射線治療を受ける患者の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義、事例についてグループワークを行い、成人期におけるがんの治療期における看護の特徴を説明できる。</li> </ul> <p>事前学修：放射線療法目的、特徴の要点をまとめる</p>
5/31	火	2	共通基盤看護学講座	伊藤 奈央 講師	<p>化学療法を受ける患者の看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義、事例についてグループワークを行い、成人期におけるがんの治療期における看護の特徴を説明できる。</li> </ul> <p>事前学修：化学療法目的、特徴の要点をまとめる</p>

・教科書・参考書等

教：教科書

参：参考書

推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	慢性期看護論 第3版	鈴木志津枝・藤田佐和 編集	ヌーヴェル ヒロカワ	2014

教	成人看護概論/成人保健	黒江ゆり子ほか編集	メジカルフレンド社	2019
教	ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑥ 緩和ケア 第3版	宮下光令 編集	メディカ出版	2022
教	ナーシング・グラフィカ 成人看護学③ セルフマネジメント 第4版	安酸史子、鈴木純恵他	メディカ出版	2022

・成績評価方法

筆記試験 80%、課題レポート 10%、事前学修 10%により総合的に評価する。

・特記事項・その他

**【事前事後学修の具体的内容及び時間】**

成人期の対象を看護するためには、対象者を取り巻く家族環境や社会・医療情勢などの背景要因の分析ができる能力が必要です。日ごろから新聞に目を通すことや家族や自身の生活行動に関心を寄せることで講義内容の理解が深まります。

講義・演習の前には必ず関連する既習科目を復習しておくこと。シラバスに記載されている次回の授業内容及び到達目標を確認し、事前学修については各回最後に提示する次回講義の疾患について教科書の該当ページを熟読し最低 30 分以上の事前学修（予習・復習）を行うこと。

**【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】**

提出されたレポートは採点后、コメントを付して返却する。

レスポンスカードを活用し、質問内容には次回講義時にフィードバックする。

**【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】**

看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 成人看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影